



2026年



二葉幼稚園

# 園のたより

# 4月

年間主題 主イエスとともに



4月の聖句

安心しなさい。わたした。恐れることはない。

マタイによる福音書14章27節

4月のさんびか

ちいさい おてて

ようじさんびか5



つまれて / よろしくね

保護者の皆様、お子さまのご入園、ご進級おめでとうございます。79名の子ども達と、キャリアのある2名の保育者を迎えた15名の教職員（うち1名育休中）とで、神さまとともに希望の一步を踏み出します。大いに泣いて、大いに遊び、大いに笑う春。

3月末、新たな夢や目標に向かい、一步を踏み出す決心をした2名の先生達に何名もの卒園生が会いに来ました。思い出話に花が咲いたり、成長した体を抱っこされたり色々な姿がありました。中には挨拶を交わした後「今日、めぐみある?行っていい?」と瞳を輝かせて階段を駆け上がる姿が。「お客様で〜す」とホールに案内するや否や沢山の在園児が駆け寄ってきて「何年生?」「だあれ?」「どこから来たの?」といきなり質問攻め。懐かしい自由遊びを満喫した新6年生2人は「楽しかった!ありがとうございました!」とルンルンで帰っていきました。別日、卒園生以外の友達も含んだ10名以上が「ただいま〜」と賑やかにやってくるなり、お別れの挨拶そっちのけで「山作ろうぜ!」と勝手知ったる外倉庫からシャベルをワイワイ持ち出し、砂場で汗だくにせっせこせっせこ!その楽しそうなことと言ったら!あっと言う間に大きな山が2つ。友達までもが我が庭のよう。みんなの輝く笑顔から、幾つになってもここが安心して「自分」らしく、素直に純粋に「生」そのものを実感できる場所であるようで、うれしくうれしく思いました。そばで笑いながら見ていたお母さん達が「これ、また園のたよりに載ったりして」と。そんなやりとりも楽しい一時でした。春休みの延長保育『めぐみルーム』の最後の日でもあったので、卒園生も在園児も一緒になって容赦のない!?ドッジボールを楽しみました!そんな様子にも目を細める先生達…。

同日の朝、卒園したばかりの★くんが「園長せんせ〜、これ」と一枚の絵を渡してきました。二葉色の台紙にA4サイズ程の紙一面に丁寧に描かれた園舎の絵。左上には「ふふふのふたば」と書かれていました。「ここはみんなのことを描いたよ」と園庭には沢山のふたばっこが描かれています。「後ろも見て」見ると「二葉幼稚園の歌〜ひかりのてんし〜」の歌詞が、まるで★くんが歌っているように言葉を伸ばすところは伸ばして表現されていました。感極まって声も出ない私にお母さんが「卒園式の後『今日で幼稚園最後』と涙しながら、園舎の写真を見て一生懸命描いてたんです。」と。ご家族、友達、先生達、神さま…生まれる前から愛され、守られ、包まれてきた子ども達、★くんが皆の思いも一緒にこの一枚に託して表現したようで大切な大切な宝物となりました。巣立った子ども達も心に覚えて応援しつつ、新たな出会いに、新たな1年、ふたばっこの素敵姿を皆さま、応援よろしくお願ひいたします!【園長】